

★じんけんクイズ★

人権キャラクター
てんいち先生と
ひかりちゃん

じんけんクイズにチャレンジ！！

♪ 答えはプログラムの裏にあるよ ♪



1. ほじょ犬^{けん}マークは、施設^{しせつ}などに補助犬^{ほじょけん}が一緒^{いっしょ}に入ることができることをみなさんに広く知ってもらうためのマークです。



法律^{ほうりつ}では3種類^{しゅるい}の補助犬^{ほじょけん}が決められています。それは、盲導犬^{もうどうけん}、聴導犬^{ちやうどうけん}

となんでしょう？

- ① 介護犬^{かいごけん} ② 介助犬^{かいじょけん} ③ 警察犬^{けいさつけん}

2. 最近^{さいきん}では、障害^{しょうがい}のある人^{ひと}や高齢者^{こうれいしや}、子どもなどすべての人^{ひと}に使いやすく、安全^{あんぜん}で分かりやすいことをかんがえて製品^{せいひん}や建物^{たてもの}がつけられています。この考え方をなんというでしょう？

- ① ユニバーサルデザイン ② ノーマライゼーション ③ バリアフリー

3. 1948（昭和23）年12月10日に国連総会^{こくれんそうかい}でとりあげられた、基本的な^{きほんてき}人権尊重^{じんけんぞんじやう}の原則^{げんそく}を定め、初めて人権^{じんけん}の保障^{ほしょう}をはっきりと示したものはなんでしょう？

- ① 水平社創立宣言^{すいへいしゃそうりつせんげん} ② 人種差別撤廃条約^{じんしゆさべつてっはいじやうやく} ③ 世界人権宣言^{せかいじんけんせんげん}

4. 子どもの虐待防止^{ぎゃくたいぼうし}のシンボルマークはどれでしょう？

- ① ピンクリボン ② オレンジリボン ③ レッドリボン



5. 今、子どもたちの間で、パソコンや携帯電話^{けいたいでんわ}による“ネットいじめ”が問題^{もんだい}となっています。ネットいじめの例^{れい}のうち、メールの発信者^{はっしんしや}が第三者^{だいさんしや}のふりをして嫌がらせ^{いやがらせ}をするメールはなんと呼^よばれているでしょう？

- ① なりすましメール ② いたずらメール ③ チェーンメール

★じんけんクイズのこたえ★



1. ②^{かいじょけん}介助犬

法律(身体障害者補助犬法)には、盲導犬、介助犬、聴導犬が「補助犬」として定められています。補助犬は身体障害者の方の生活をサポートし、自立と社会参加を促進するために育成されています。

補助犬(盲導犬、介助犬、聴導犬)は、公共の施設、交通機関、不特定多数の方が利用するデパートやホテルなどの施設での同伴の受け入れが義務付けられています。

2. ①ユニバーサルデザイン

障害のあるなしや年齢にかかわらず、すべての人に使いやすく、安全でわかりやすいことを考えたデザインが「ユニバーサルデザイン」です。

バリアをなくす取り組みは「バリアフリー」ですが、「ユニバーサルデザイン」はバリアを作らないという発想から生活関連品や交通機関などをデザインしようとする取り組みです。(例:シャンプーやリンスの容器のでこぼこの有無、車いすの人や子どもでも利用できる自動販売機など)

3. ③^{せかいじんけんせんげん}世界人権宣言

世界人権宣言は“すべての人民とすべての国とが達成すべき”基本的人権についての宣言です。第2次世界大戦中に起こった特定の人種の迫害、大量虐殺などの人権侵害の反省から、人権の保障こそが世界平和の基礎であるという考えが広まりました。

採択日の12月10日は「人権デー(Human Rights Day)」として世界中で記念行事等が催されます。日本では12月4日～10日を「人権週間」と定め、積極的な取り組みが行われています。

4. ②オレンジリボン

「オレンジリボン」は子育てを温かく見守り、お手伝いする意思のあることを示すマークであり、オレンジ色は子どもたちの明るい未来を表しています。「オレンジリボン運動」は、「子ども虐待防止」のシンボルとして「オレンジリボン」を広める市民運動です。

①のピンクリボンは乳がんの早期発見・早期診断・早期治療の大切さを伝えるシンボルマーク、③のレッドリボンはHIV感染者・エイズ患者への理解と支援の意思を示すシンボルマークです。

5. ①なりすましメール

パソコンや携帯電話を使い、他人を傷つける“ネットいじめ”が子どもたちの間で起きています。ネットいじめには、なりすましメールのほかにウソや悪口を不特定多数に送信し、さらに複数の人へ送信するよう促す「チェーンメール」があります。

ほかにも「学校裏サイト」と呼ばれる非公式サイトやブログ・プロフ(プロフィールサイト)に個人情報や無断で掲載したり、誹謗・中傷を書き込んだりする例があります。子どもたちが被害者にも加害者にもならないよう、大人は状況を把握する努力をし、人権の視点から注意、指導していくことが大切です。